



静かに陣形配備



林の巻



CLOUDIAN HYPERSTORE

風林火山ストレージ

日本で生まれ、リリースから7年 世界で採用されるオブジェクトストレージ製品

容量制限を気にしない拡張性

設備拡張のたびの
大騒ぎは不要



人手不要のスケールアウト

物理ノード（×86 サーバ）を準備し、GUI 管理画面からネットワーク情報を入力するだけで、自動的にノードを追加してストレージ全体の容量を拡張できます。

数年後の容量を
先に購入しておく
必要なし



常に適正サイズ

最小台数 3 台で、数十テラバイトといった小規模から利用開始できます。ノードを追加することにより、ペタバイト超に、ノード数、データ量の制限なしに拡張できます。

限りなく Amazon S3

クラウド対応
アプリケーション
の改修不要



S3 アプリをオンプレミスでも利用

HYPERSTORE は、100% ネイティブ S3 API。Amazon S3 を使うアプリケーションやツールを改修することなく、データの保存先を HYPERSTORE にするだけで、オンプレミスでもすぐに利用できます。

オブジェクトストレージとは？

多くのオブジェクトストレージには、次の4つの大きな特長があります。

1. 容量制限を気にせず大量のデータを保存できます

ファイルストレージにおけるディレクトリ、フォルダーのサイズ制限や、ツリー構造を維持する制約がないため、大量データの保存に適しています。

2. 複数設備・場所にデータを分散して安全に保存できます

階層のないフラットな構造でデータを保存するため、複数のハードウェアやデータセンターにデータを分散しデータ保護する冗長構成をシンプルに実現できます。

3. インターネットに適したデータの読み書きができます

インターネット標準の HTTP (S) 通信プロトコルを利用して、ファイルを識別する ID を URL 指定するので、直接インターネット接続してデータの読み書きができます。

4. データに付加する属性情報により検索が容易です

データ（ブLOB）と、データの内容を説明するメタデータ（属性情報）をセットにして扱えるため、映像・画像情報等でも検索が容易になります。

自動クラウド階層化

オンプレミス / クラウド連携

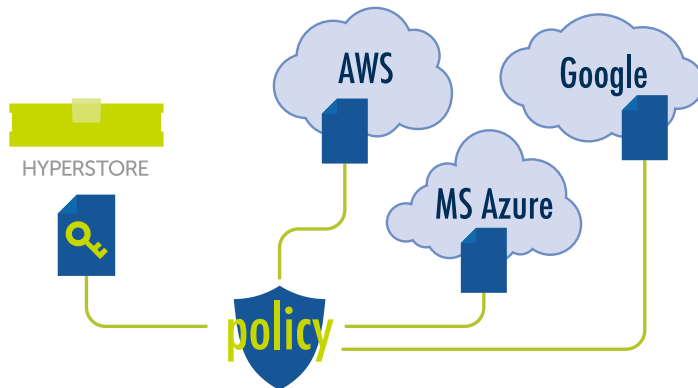
お客様のデータセンターに設置している HYPERSTORE 内のデータを、期限などのポリシーに応じて、AWS、Google、Azure 等のパブリッククラウドに自動転送し、階層化できます。

性能と経済性の最適化

利用頻度の高いデータはオンプレミスの HYPERSTORE から迅速にアクセスし、利用の少ないデータは超低コストのクラウドアーカイブサービスに保存することで、性能と経済性を最適化できます。

マルチモーダル

オプションでファイルプロトコルによるファイルの読み書きが可能になります。HYPERSTORE への保存後は、S3 API からのアクセスができます。さらに、自動階層化すれば、保存先のクラウドサービス (AWS、Google、Azure 等) の API からのアクセスも可能 (一部準備中) となり、マルチモーダル利用ができます。



CLOUDIAN HYPERSTORE の特長

100%ネイティブの S3 API

Amazon S3 API 完全準拠を目指して開発しています。Amazon S3 を使うアプリケーションやツールを改修することなく、データの保存先を HYPERSTORE にするだけで、すぐに利用できます。

ソフトウェアデファインド

HYPERSTORE はソフトウェアです。一般的な x86 サーバをハードウェアに使うため、経済的なストレージシステムを構築できます。また、ソフトウェア実装済のアプリケーションとしても調達できます。

スモールスタートし無限に拡張

最小台数 3 台で、数十テラバイトといった小規模から利用開始できます。ノードを追加することにより、ペタバイト超に制限なく容量を拡張できます。

セルフポータル

GUI 管理画面からセルフサービスで各種設定や操作ができます。統計、課金、利用量管理、グループ、ユーザー管理など、商用クラウドサービスで使われている機能が標準装備されています。

ハイブリッド / マルチクラウド

お客様のデータセンターに設置している HYPERSTORE 内のデータを、期限などのポリシーに応じて、AWS、Google、Azure 等のパブリッククラウドに自動転送し、階層化できます。

マルチモーダル

オプションでファイルプロトコルによるファイルの読み書きが可能になります。HYPERSTORE への保存後は、S3 API からのアクセスができます。さらに、自動階層化すれば、保存先のクラウドサービス (AWS、Google、Azure 等) の API からのアクセスも可能 (一部準備中) となり、マルチモーダル利用ができます。

